



平成 26 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 中富 博隆
(コード番号:4530 東京、名古屋、福岡)
問合せ先 取締役執行役員IR室長 高尾 信一郎
(TEL 03-5293-1714)

「第 5 期中期経営方針」策定のお知らせ

久光製薬株式会社（本社：佐賀県鳥栖市、代表取締役社長執行役員：中富博隆、以下当社）は、このたび平成 27 年 2 月期（平成 26 年度）から 5 ヶ年の「第 5 期中期経営方針」を策定いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 「第 5 期中期経営方針」の背景

当社は、将来に渡る持続的な成長を遂げるために、第 1 期から第 4 期中期経営方針を策定してまいりました。

第 4 期中期経営方針（平成 21 年度～平成 25 年度）におきましては、基本方針として（1）.「商品・営業の差別化強化」、（2）.「国際競争力の獲得」、（3）.「TDDS 研究開発の強化」を掲げて事業活動を展開いたしました。その結果は以下の通りです。

- （1）.「商品・営業の差別化強化」：医薬事業および薬粧事業ともに、新商品の上市や育薬を通じて、情報提供活動やプロモーション活動に尽力いたしました。
- （2）.「国際競争力の獲得」：平成 21 年 7 月に買収した Noven 社やその他海外子会社の売上増加に伴い、海外事業は大幅に伸長いたしました。
- （3）.「TDDS 研究開発の強化」：研究開発パイプラインのうち 5 品目で承認および上市に至りました。

一方で、外部環境の変化、競争の激化、およびパイプラインの開発中止など、想定以上のマイナスの影響を受け、当初設定していた目標や指標に対して、厳しい結果となりました。

第 5 期中期経営方針では、課題の克服と将来への成長を見据え、5 ヶ年最終年度（平成 30 年度）の目標や指標を確実に達成するため、以下の基本方針を実行いたします。

2. 「第 5 期中期経営方針」の基本方針

- （1）. 国内市場での更なるプレゼンス拡大
・ 医療用医薬品事業

- ・ 外用鎮痛消炎貼付剤の売上維持
 - ・ 新商品における育薬の推進
 - ・ 整形外科およびペイン領域における販売アイテムの拡充
- ・ 一般用医薬品事業
 - ・ 新規カテゴリーへの積極的な展開
 - ・ 使い勝手の良い商品改良の実施

(2). 海外での競争力強化

- ・ アジア
 - ・ オペレーション（営業・生産）の現地化
- ・ 米国
 - ・ 研究開発の一元化および欧州と南米への展開
 - ・ Noven 社の製造拠点としての活用
 - ・ 新商品の販売強化

(3). 新商品・新技術の創出と育成

研究開発

- ・ 徹底的な商品の差別化
- ・ 新規基盤技術の開拓
- ・ 候補薬物の網羅的探索と積極的なアライアンス

3. 「第 5 期中期経営方針」の経営目標

5 カ年最終年度（平成 30 年度）における当社の経営目標は、以下の通りです。

	平成 25 年度実績	平成 26 年度予想 ^{*1}	平成 30 年度目標	5 年間 年平均成長率
売上高	1,506 億円	1,619 億円	1,900 億円	4.8%
原価率	36.8%	36.8%	35.0%	
販管費率	50.5%	50.6%	45.0%	
営業利益	191 億円	204 億円	380 億円	14.7%
純利益	213 億円	180 億円	254 億円	3.6%

^{*1} 平成 26 年度予想:平成 26 年 4 月 10 日公表

4. 「第 5 期中期経営方針」の株主還元策・資本政策

当社は、将来に渡る戦略的投資を考慮し、長期的な安定配当を実現してまいります。5 カ年最終年度（平成 30 年度）における具体的な数値目標は、以下の通りです。

		平成 25 年度実績	平成 30 年度目標
株主還元策	配当性向	30.1%	40.0%以上
	DOE ^{*2}	3.5%	4.5%以上
資本政策	ROE ^{*3}	11.8%	11.0%以上

^{*2} DOE : Dividend on Equity (自己資本配当率)

^{*3} ROE : Return on Equity (自己資本純利益率)

以上